

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

# 入札案件概要書 (コンサル)

契約番号 : 8423

件名	市道海老名駅大谷線電線共同溝予備設計委託 (再公告)	
履行場所	海老名市 中央二丁目ほか1 地内	
期間	令和8年7月17日 ~ 令和9年3月15日	
契約の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	9,559,000 円 (税込)	8,690,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (開札後算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格 (50%) 未満の場合 ※ただし、予定価格 (税込) 100 万円以下の案件は除く。	低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準を参照してください。 <b>契約締結にあたっての制限等</b> ○ 前払金額の制限 <b>契約金額の15%以内 (海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限りです。)</b> ※前払金の上限金額は5,000万円以下 ○ 業務主任者及び管理技術者の他案件 (本市入札案件) との兼任不可 <b>契約保証</b> 契約金額の30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 <b>※現金納付及び実績による免除はありません。</b> (ア) 金融機関又は保証事業会社の保証 (イ) 公共工事履行保証証券による保証 (履行ボンド) (ウ) 履行保証保険契約の締結 (定額てん補)	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	314 道路	
	発注区分 区分の詳細は入札公告で確認してください。	第4区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	○令和3年4月1日以降に神奈川県内の地方公共団体が発注した、電線共同溝予備設計又は電線共同溝詳細設計業務の履行実績を有すること。 ○管理技術者は次のいずれかの資格を有すること。 ・技術士(総合技術監理部門-建設-道路) ・技術士(建設部門-道路) ○業務主任者は次のいずれかの資格を有すること。 ・技術士(建設部門-道路) ・RCCM(道路) <b>※管理技術者と業務主任者は兼ねることができません。業務主任者は、技術上の照査も併せて行う者を配置すること。</b>	
	落札数制限	なし	
配置技術者について	本案件に配置する技術者等は、同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 (システム添付)	参加資格確認申請時にファイルを添付してください。 <u>ファイルは一つにまとめてください。</u> ○「履行実績等調書」 (本概要書添付の調書を使用、次の書類を併せて提出) ・履行実績を確認できる書類 (契約書、テクリスの写し等)		

**落札候補者が  
提出する書類**  
(FAX046-232-6574)

開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。  
(落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。)  
○委託業務主任者等選任届 及び 資格等 及び3ヵ月以上の雇用を確認できる書類

# 案内図

市道海老名駅大谷線電線共同溝予備設計委託



令和8年度

市道海老名駅大谷線電線共同溝予備設計委託  
特記仕様書

海老名市

まちづくり部 道路整備課

## 1 適用範囲

本仕様書は、次の設計業務に適用する。

- (1) 件名：市道海老名駅大谷線電線共同溝予備設計委託
- (2) 路線名：市道海老名駅大谷線
- (3) 履行場所：海老名市 中央二丁目ほか1 地内

## 2 作業目的

本委託は、市道海老名駅大谷線の電線共同溝予備設計委託を実施し、経済的かつ合理的に無電柱化事業の進捗を図ることを目的とするものです。

## 3 作業内容

- (1) 電線共同溝 予備設計 片側L=210m (両側L=420m)
  - ① 打合せ等
  - ② 電線共同溝予備設計

受注者は、設計業務に当たり、最新の技術基準（施行令、基準、示方書、指針、要領、便覧、その他監督員の指示する基準）や参考図書（日本道路協会、土木学会等で発行している図書）を用いるものとする。なお、設計に関する基準等準拠すべき図書において、工期内に基準の改訂等があったときは、監督員と協議するものとする。加えて他事例の調査等により最新の情報を把握し、設計等に活用すること。

## 4 契約期間

令和8年7月17日 から 令和9年3月15日 まで（242日間）

## 5 作業計画の提出・履行報告

適切な作業計画を立案し、これを監督員に速やかに提出して、その承諾を得ること。以後は進捗状況の共有のため、毎月初日から市の休日を除いた5日以内に前月分の履行報告書を提出すること。なお、様式は指定様式とし、作業工程表を添付すること。

## 6 身分証明書の携帯

身分を証明できるものを絶えず携帯し、身分の証明を求められた場合は、それを速やかに提示すること。

## 7 安全の確保

作業時の安全を確保するため、必要な措置を講じ、事故防止に努めること。

## 8 守秘義務

成果品全ては発注者の所有とし、発注者の承諾を受けないで第三者に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。

また、本作業の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

## 9 委託業務における一般事項

### 9-1 共通事項

- (1) 本委託にあたっては、その内容を十分理解の上、設計業務工程表を作成し、監督員との事前協議及び確認、承認後に委託作業に入ること。
- (2) 受注者は、業務の目的を把握した上で、速やかに業務計画書を作成し、監督員へ提出すること。
- (3) 本委託業務は、「神奈川県測量・調査・設計業務共通仕様書」に準じて行うものとする。
- (4) 委託業務に際し、事前に関係者への周知を図るとともに、民有地へ立ち入る場合には、相手方にその身分を明らかにし、了解を得てから作業を実施すること。
- (5) 本委託業務は、海老名市契約事業環境配慮マニュアル適用事業になっていることから、監督員と環境配慮に関する事項の内容確認を行い、その内容に留意し、作業を行うものとする。

### 9-2-1 打合せ等

打合せは、原則として業務着手時・中間時（5回）・完了時の計7回を行なうものとし、管理技術者は必ず立ち会うこと。ただし、その他、監督員が必要と認めた場合は打合せを行うこと。

打合せの資料は、業務の検討過程及び結果、確認事項、問題点等を明確に確認することができるものを作成することとする。また、事前に打合せ資料をメールにてPDF形式で送付すること。

関係機関打合わせ協議は、打合せに出席し、その結果を各設計に反映すること。併せて打合せ議事録も作成すること。本委託では、電線共同溝整備に係る企業者調整会議3回、交通管理者協議2回の計5回を想定している

### 9-2-2 電線共同溝予備設計

受注者は、「神奈川県電線共同溝整備マニュアル（最新版）」に基づき、成果品を作成すること。また、電線共同溝の整備計画書（案）についても作成すること。

#### (1) 設計計画

受注者は、電線共同溝予備設計に係る設計計画を立てる。設計計画においては、設置位置、断面、管路構成及び関係機関との協議内容を整理し、成果品の取りまとめ方を明確にする。

(2) 現地踏査

受注者は、現地状況（CP、地形、地質、地物、植生、用排水、土地利用状況及び埋蔵文化財、企業者占有物件など）を把握するため、現地踏査を行い本業務にあたること。特に既設埋設物や地上機器設置候補箇所の条件を把握する。

(3) 設計条件の整理検討

受注者は、電線共同溝予備設計に必要な諸条件の整理を行うものとし、対象区間、設置箇所、収容予定事業者、管路方式を明確にして設計条件を取りまとめる。

(4) 平面・縦断線形設計

受注者は、平面設計において、設置位置（歩道部、車道部）を整理し、縦断線形設計においては、埋設部を考慮して縦断構成を整理する。

(5) 管路部設計

受注者は、電線共同溝管路部の構成、管径、必要条数、配置について収容予定事業者と協議をして検討する。

(6) 特殊部設計

受注者は、電線共同溝特殊部の配置、構造等について収容予定事業者と協議をして検討する。

(7) 地上機器部設計

受注者は、電線共同溝地上機器部の配置、構造、歩行者動線の確保、沿道施設等について収容予定事業者と協議をして検討する。

(8) 概算工事費

受注者は、電線共同溝予備設計の成果に基づき、管路部、特殊部、地上機器部に係る概算工事費を算出する。

(9) 関連機関との協議資料作成

受注者は、関係機関との協議及び発注者による説明に必要な資料を作成し、配置計画や断面が分かりやすく整理されたものにする。

(10) 報告書作成

受注者は、業務の成果品において、設計委託標準仕様書記載の内容に加え、設計概要、設計条件、各設計項目の検討過程及び結果、関係機関ならびに地元関係者との協議で使用した資料、その他監督員が必要とした資料などを取りまとめること。

10 成果品

成果品は、下記成果品リストに基づき、監督員の指示に従い完了日までに修正も含んだ完全版として納品すること。

尚、本業務により作成した文書及び図面等は、バインダー(A 4 版)等に綴じ込むと共に、電子媒体をDVD-ROMに格納し提出すること

## 成果品リスト

No.	種 別	内 容	部数	備 考
1	設計図面	A3版	1部	紙媒体 電子媒体 (DVD-ROM)
2	報告書	A4版	1部	電子データを出力し、バインダー で綴ったもの
3	打合せ簿	A4版	1部	紙媒体 (打合せごとに使用した資 料も含む)
4	関係機関協議資料	A3版	1部	電子データを出力し、バインダー で綴ったもの (報告書とは別冊)
5	電子データ	CD又は DVD	1部	

### (注意事項)

- (1) 成果品の内容については、必要に応じて監督員及び受注者との協議により変更できるものとする。
- (2) 成果品における物品(ファイル等)については、再資源化の可能なものを使用すること。
- (3) 見出しにインデックスを添付すること。
- (4) CAD電子データを変換して提出する際は、文字化け等をチェックし修正後、提出すること。
- (5) 作成する文書及び図面等の電子データ形式については、以下のとおりとする。
  - ① 文書ファイル形式……docx ・ xlsx ・ pdf ・ xdw
  - ② 図面ファイル形式……jww ・ dwg ・ sfc ・ dxf ・ pdf ・ xdw
  - ③ 写真及び参考資料……jpg ・ pdf ・ xdw
- (6) 提出する電子データは、必ずウイルスチェックを行ない、次ページの図のように記入すること。



#### 11 海老名環境マネジメントシステム関係

本作業を行うにあたり、「海老名市役所環境方針」を遵守し、次のことに配慮すること。

- (1) 報告書の用紙は再生紙を使用するように努めること。
- (2) 報告書の作成部数は無駄がないように最低限の部数とする。
- (3) 現地調査等で車両を利用する場合は、作業効率を考慮し車両の使用回数を控えるよう検討すること。
- (4) 報告書は可能な限り電子情報での提出とする。
- (5) 調査等に使用する車両は、環境に配慮した車両の使用に努めること。
- (6) 調査に使用するOA機器等の電源管理の徹底を図るように努めること。
- (7) 業務実施時に電力を使用する際は、節電に努めること。

#### 12 履行遅滞の場合における損害金等

受注者側の責に帰すべき事由により履行期間内に業務を完了することができない場合、土木設計業務委託標準契約約款第41条第1項により受注者に対して損害金の支払を請求します。

#### 13 業務従事者の必要資格

本委託業務において、業務主任者は、技術士（建設部門（道路））又はシビルコンサルティングマネージャ（道路部門、以下「RCCM」）の資格保有者であり、日本語に堪能でなければならない。また、管理技術者は、技術士（総合技術監理部門（建設-道路）又は建設部門（道路））の資格保有者でなければならない。

14 履行に必要な実績等

次の入札参加資格を満たす者であること。

令和3年4月1日以降に実施した、次のア又はイの業務を含む神奈川県内の区市町村発注の設計委託の実績を有すること。

ア 電線共同溝予備設計

イ 電線共同溝詳細設計

15 積算基準

適用歩掛：令和7年7月

適用単価：令和8年4月

16 その他

(1) 本作業を進める上で疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議の上、実施すること。なお、協議については書面(打合せ記録簿)で行うこと。

(2) 本委託仕様書に定めのない疑義事項については、監督員と協議のうえ履行すること。

(3) 成果品納入後に不備が判明した場合、速やかに訂正を行うこと。

令和8年度  
市道海老名駅大谷線電線共同溝予備設計委託  
数量計算書

工種	種別	細別	規格	単位	数量	備考
設計	打合せ等	業務着手時		業務	1.00	
		中間打合せ		回	5.00	
		成果品納入時		業務	1.00	
		関係機関打合わせ協議	県警2回 企業者調整会議3回	回	5.00	
	電線共同溝予備設計 L=420m (両側歩道)	設計計画		業務	1.00	
		現地踏査		業務	1.00	
		設計条件の整理検討		業務	1.00	
		平面・縦断線形設計		業務	1.00	
		管路部設計		業務	1.00	
		特殊部設計		業務	1.00	
		地上機器部設計		業務	1.00	
		概算工事費算出		業務	1.00	
		関係機関との協議用資料作成		業務	1.00	
		照査		箇所	1.00	
報告書作成		箇所	1.00			

補正（電線共同溝予備設計）

設計延長による補正	500m以下
地域補正	DID地区

令和 8 年 度

市道海老名駅大谷線電線共同溝予備設計委託設計書

番 号	歩掛R7.7 単価R8.4	施 工 年 度	令和8年度
名 称	市道海老名駅大谷線電線共同溝予備設計委託		
場 所	海老名市 中央二丁目ほか1 地内		
施 工 主	海老名市	概要 (1) 電線共同溝 予備設計委 片側L=210m (両側L=420m) ①打合せ等 1式 ②電線共同溝予備設計 0.42km	
設 計 区 分			
路 線 名			
期 間	令和8年7月17日～令和9年3月15日		
日 数	242日		
部 課 名	まちづくり部 道路整備課		
積 算 担 当	幹線道路係		
合 計 額			
価 格			
消費税相当額			



# 間 接 費 明 細 書

設 計 条 件				
直接人件費(測量)				
直接人件費(一般調査)				
直接人件費(解析調査)				
直接人件費(設計委託)				
電子成果品作成費	土木設計(概略・予備・詳細)／下水道設計(施設)			

算 出 基 礎				
---------	--	--	--	--

旅費交通費(設計委託) = 直接人件費 × 率  
 =       ×   %  
 =

間接原価(設計委託) = 対象額 × 率  
 =       ×   %  
 =

対 象 額 = 直接人件費  
 =

一般管理費(設計委託) = 業務原価 × 率 - 調整額  
 =       ×   % -  
 =





































# 履行実績等調書

認定番号 \_\_\_\_\_

商号又は名称 \_\_\_\_\_

入札案件名	( 契約番号 )
履行実績等の要件※ 入札案件概要書「その他の要件」欄コピー	

## ○履行実績の概要

契約件名		
発注者		
契約金額		
履行期間		
業務内容ほか		
添付書類 ※入札案件概要書で指定する書類のほか、添付する書類を記載	<input type="checkbox"/> 契約書の写し	枚
	<input type="checkbox"/>	枚
	<input type="checkbox"/>	枚

※実績等の記載内容を証明できる書類の写しを添付すること。

※添付書類は、上記記載の順に次ページ以降に添付してください。

※条件に該当する箇所を、明示してください。（コメントの付加、マーカー表示など）

担当者様 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_